

東海村水道事業経営戦略を改定しました

村では、将来にわたり水道事業を安定的かつ持続的に運営するために、施設の現況や、財政状況を踏まえた、将来の水道事業の見通しとして、「東海村水道事業ビジョン」を策定しています。策定から5年が経過したため、計画の見直しを行いました。

【問い合わせ】水道課業務担当(☎282-1711 内線1152)



村の水道事業の基本理念

「いつでも安心な水を安定して供給します」

この基本理念を達成するため、以下の取り組みを実施していきます。

また、ビジョンに掲げるもののうち、「最大カビ臭物質濃度水質基準比率」「法定耐用年数超過設備率」「営業収支比率」「料金回収率」は、水道事業ビジョンを策定した平成29年度時点の値と比較して改善が見られていないため、引き続き目標達成に向けて取り組みます。

【取り組み】

安全	異臭味被害・水質事故の防止、給水装置等の管理強化
強靱	水道施設の耐震化、応急復旧体制の整備など
持続	健全な事業経営の推進、計画的な施設の更新など

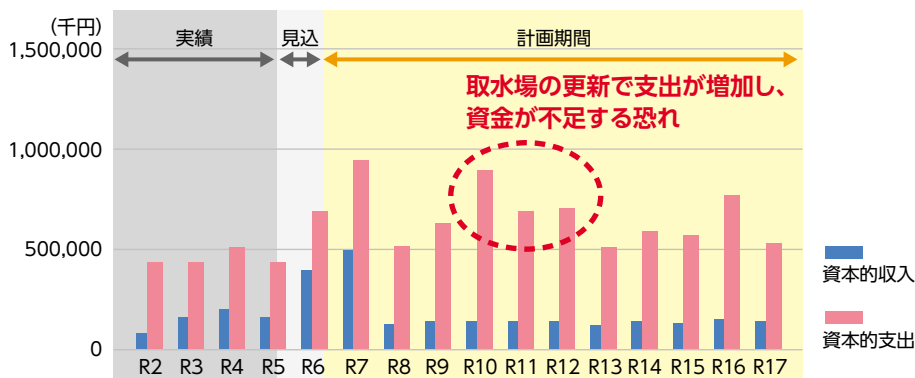


村の水道事業の課題

課題① 施設設備の老朽化や耐震化への対応

管路や浄水施設などの設備の老朽化が進行しています。水道水を安定して供給するために、管路や取水場(川から水を取る施設)の大規模な更新と耐震化が必要です。それらに対応するための費用が増加します。

資本的収支の推移



老朽化した水道管の更新



更新が必要な取水場

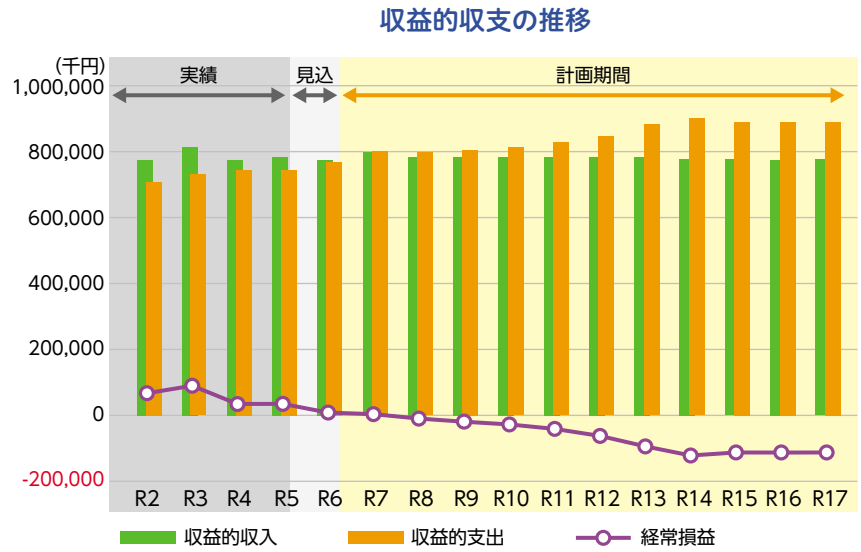
※資本的収支とは…何年も長持ちする「財産」・「資産」に係るお金の出入り。

課題② 経営安定化への対応

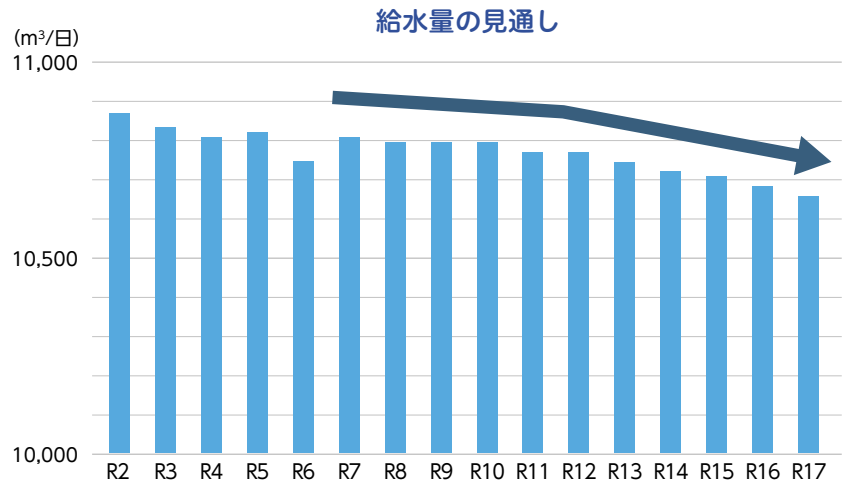
令和8年度に費用が収入を上回る見込みです。

水道水を供給するための費用は、水道料金で賄うことが原則です。村の料金回収率は、91.6%(令和6年度決算)であり、水道事業の経営にかかる費用が水道料金だけでは賄えていない状況です。

また、給水量は今後ゆるやかに減少していく見込みです。給水量の減少で、令和17年度には、収入が約600万円減少する見込みで、その後も給水量が減少し続ける見込みです。



※収益的収支とは…水道サービスを「今、提供する」ために必要なお金の動き。



これからの水道



「いつでも安心な水を安定して供給」するためには、収支を黒字化して、水道事業を健全に経営していく必要があります。

そのために、令和17年度までの計画期間中に、料金改定が必要です。

料金改定の時期と改定率については、今後、第三者委員会等を立ち上げ具体的な検討を行っていきます。